大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F120210105813	設置等組織名	共創情報科学部共創情報科学科
大学名	長野大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	長野	事業計画名	長野大学　情報系学部新設事業

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-①令和５年７月～令和７年１月　教育課程原案策定(設置の趣旨・必要性、養成する人材像・３ポリシー、教育課程、入学者選抜、教員採用計画等(既存学部から移行する5名を除く１６名)、教員採用) 1-②令和５年１０月～令和７年８月　学生確保の認可前広報、高校訪問、海外教育連携等 1-③令和５年１１月　開設に向けた公開シンポジウム及び理系人材を生む地域文化を醸成（模擬授業） 2前-①令和５年度　環境・情報科学部（予定）新設のための新棟建設発注支援業務委託の実施 2前-②新棟建設・既存校舎改修のための基本・実施設計（初年度）の実施	1-①令和５年７月～令和７年１月　教育課程原案策定(設置の趣旨・必要性、養成する人材像・３ポリシー、教育課程、入学者選抜、教員採用計画等(既存学部から移行する5名を除く１６名)、教員採用) 1-②令和５年１０月～令和７年８月　学生確保の認可前広報、高校訪問、海外教育連携等 1-③令和５年１１月　開設に向けた公開シンポジウム及び理系人材を生む地域文化を醸成（模擬授業） 2前-①~~令和５年4月　環境・情報科学部（予定）新設のための新棟建設発注支援業務委託の実施~~（交付決定前に契約したので計画からは削除） 2前-②新棟建設・既存校舎改修のための基本・実施設計（初年度）の実施	令和5年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	1-④令和６年４月　設置認可申請に向けた教育課程の精査(外部委託) 1-⑤令和６年４月　実験演習科目の事前準備のための技術職員４名を雇用【補助対象経費(R6)】 1-⑥令和６年４月　リカレント教育、PBL、共同研究等を企画・実践する産官学コンソーシアム立ち上げ 1-⑦令和６年７月　進学需要調査、企業等の採用意向調査の実施(外部委託【補助対象経費】) 2前-③新棟建設・既存校舎改修のための基本・実施設計（２年目）の実施 2前-④コンストラクション・マネジメント業務委託（初年度）の実施 2前-⑤工事監理業務委託（初年度）の実施 2前-⑥新棟建設のための既存校舎解体工事の実施 2前-⑦環境・情報科学部(予定)新設のための新棟建設工事（初年度）の実施	1-④令和６年４月　設置認可申請に向けた教育課程の精査(外部委託) 1-⑤令和６年４月　実験演習科目の事前準備のための技術職員2名を雇用【補助対象経費(R6)】 1-⑥令和６年10月　リカレント教育、PBL、共同研究等を企画・実践する産官学コンソーシアム立ち上げ 1-⑦令和６年７月　進学需要調査、企業等の採用意向調査の実施(外部委託【補助対象経費】) 2前-③新棟建設・既存校舎改修のための基本・実施設計（２年目）の実施 2前-④コンストラクション・マネジメント業務委託（初年度）の実施 2前-⑤工事監理業務委託（初年度）の実施 2前-⑥新棟建設のための既存校舎解体工事の実施 2前-⑦共創情報科学部(予定)新設のための新棟建設工事（初年度）の実施（R7.3.28承認）	令和6年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	1後-①令和7年４月　実験演習科目の事前準備のための技術職員４名を雇用【補助対象経費(R７)】 1後-②令和７年８月　学生確保の認可前広報、高校訪問、海外教育連携等 2-①コンストラクション・マネジメント業務委託（２年目）の実施 2-②工事監理業務委託（２年目）の実施 2-③~~環境・情報科学部共創情報科学部~~(予定)新設のための新棟建設工事（２年目）の実施（R7.3.28承認） 2-④既存校舎改修工事（初年度）の実施	1後-①令和7年４月　実験演習科目の事前準備のための技術職員 2 名を雇用【補助対象経費(R７)】 1後-②令和７年８月　学生確保の認可前広報、高校訪問、海外教育連携等 2-①コンストラクション・マネジメント業務委託（２年目）の実施 2-②工事監理業務委託（２年目）の実施 2-③共創情報科学部(予定)新設のための新棟建設工事（２年目）の実施（R7.3.28承認） 2-④既存校舎改修工事（初年度）の実施	令和7年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	2後-①コンストラクション・マネジメント業務委託（３年目）の実施 2後-②工事監理業務委託（３年目）の実施 2後-③環境・情報科学部(予定)新設のための新棟建設工事（３年目）の実施 2後-④既存校舎改修工事（２年目）の実施 2後-⑤備品・情報システム・図書(初年度)の設置 3-①令和８年４月　長野大学重点研究課題を設定・公募(毎年実施) 3-②令和８年４月　実験演習科目実施に係る技術職員２名を雇用(毎年実施)【補助対象経費(R８～R１１)】 3-③令和８年４月　コンソーシアムによる企業連携活動を実施するためのキックオフミーティング 3-④令和８年６月　科研費獲得のためのセミナーの実施(毎年実施) 3-⑤令和８年９月　リカレント教育(DX・GXの講座を社会人向け)、地域密着型ゼミ実施(学年進行で毎年) 3-⑥令和９年２月　学生アンケートの実施(毎年実施) 3-⑦令和９年３月　外部評価(教育の質保証、３ポリシー、学位について)の実施(毎年実施)		令和8年度自己評価　リストから選択してください。
令和9年度			令和9年度自己評価　リストから選択してください。
令和10年度	3-⑧令和10年4月　オムニバス講座、インターンシップ実施、令和１１年４月　PBL実施(学年進行で毎年)		令和10年度自己評価　リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価　リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価　リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価　リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価　リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和７年３月　環境・情報科学部環境・情報科学科　設置認可申請予定	令和７年４月　共創情報科学部共創情報科学科　設置届出申請（R7.3.28承認）	
定員減又は 学部等の廃止	以下の学部改組により既存学部の入学定員を40人減とする。 令和８年４月　企業情報学部（入学定員95人、編入学定員5人、経済学関係、工学関係）、環境ツーリズム学部環境ツーリズム学科（入学定員95人、編入学定員5人、社会学・社会福祉学関係、経済学関係） 募集停止予定 令和８年４月　地域経営学部地域経営学科（予定）（入学定員150人、社会学・社会福祉学関係、経済学関係） 開設予定	以下の学部改組により既存学部の入学定員を40人減とする。 令和８年４月　企業情報学部（入学定員95人、編入学定員5人、経済学関係、工学関係）、環境ツーリズム学部環境ツーリズム学科（入学定員95人、編入学定員5人、社会学・社会福祉学関係、経済学関係） 募集停止予定 令和８年４月　地域経営学部地域経営学科（予定）（入学定員150人、社会学・社会福祉学関係、経済学関係） 開設予定	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	長野大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。☐
② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。
④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。
⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。
⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。
⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。
⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）
⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。
⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。
⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。
⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。
⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
☐ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
☐ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
長野県の製造業、医療、観光、農業、金融等でデジタル化を担っている技術者を複数講師として招き、学年進行で令和１０年度からDXの応用分野の広さを学ぶためにオムニバス講座「未来アントレプレナーセミナー」を開講する予定である。また、地域の多様な人々とのコミュニケーションを取りながら協働する能力と主体的に考える力を身に付けさせるため、地域データベース活用のインターンシップ(令和１０年度から)や地域企業でのPBL科目(令和１１年度から）を複数開講し、フェーズ１で産官学コンソーシアムを立上げ、フェーズ２で学内にワークショップやアトリエ等産学連携・PBL・市民の自主的な活動の場を新棟に整備する計画である。また、地域で生まれ、地域と生きる国内初の「公設民営方式」大学の原点に戻り、上田市と連携して、学生自らが地域に出かけて行き、全学混成のチームで、産官学の垣根を越えた「教え合い・学び合い」によって、地域や企業の調査、グループディスカッション、問題抽出、解決策立案などで構成された「地域密着型ゼミ」(令和８年度から）を開講する計画である。	フェーズ1として、令和6年度に設立した産官学コンソーシアム「うえだ人材共創スクエア」において、令和7年度は毎月役員会を開催し、会員企業等との連携体制を構築した。あわせて、「交流フォーラム」を5回開催し、延べ参加者数182名、登壇者は教員9名、企業関係者3名であり、企業との接点創出及び関係構築が進展している。また、「一般公開シンポジウム」を2回開催し、延べ132名の参加を得て、新学部の構想及び取組の周知を図った。令和8年度開講予定の地域密着型ゼミについては、既存科目「信州上田学」をリニューアルし、地域調査、課題抽出及び解決策立案等を組み合わせた実践的科目として再設計を行い、開講に向けた準備を完了している。さらに、令和10年度以降に開講予定のオムニバス講座、インターンシップ及び令和11年度以降に展開するPBL科目については、コンソーシアム活動を通じて企業・関係機関とのネットワーク形成を進めており、教育プログラム実施に向けた基盤整備が進んでいる。また、フェーズ2として位置付ける新棟における産学連携・PBL等の拠点整備については、現在建設工事が進められており、計画どおり整備が進捗している。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

☐ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
地域の初等中等教育段階の学校との連携については、現在、本学は上田地域校長会と学びの連携を行っており、教員や学生を小中学校に派遣して模擬授業を実施しているが、この取組をフェーズ１で、優れた理系人材を生む地域文化の醸成に資する取組を行う。丸子修学館高等学校や上田千曲高等学校等とは、教育連携を含めた協定を締結しており、今後の単位認定も視野に入れてフェーズ１で、理工系の模擬授業等を実施する。なお、これらの取組を女子生徒が早期に理工系の学びに触れる機会として活用し、理系女子のロールモデルも取り入れた認可前広報を実施する。加えて、ベトナムやフィリピンでも模擬授業を行い、留学生を受け入れたい。また、フェーズ３で、令和８年９月から、社会人受入れについては地域企業と協力関係を築き、この中で本学は企業にDXやGXを主としたリスキリングの機会をオンデマンド授業で提供する。リカレント教育については、企業との協力関係を基礎とした学生受入れ体制を築くとともに、近隣にある長野県工科短期大学校の学生及び卒業生の受入れの仕組みも構築する。	地域の初等中等教育段階の学校との連携については、上田西高等学校、丸子修学館高等学校及び上田千曲高等学校において、本学教員による模擬授業を実施し、理工系分野への関心喚起及び女子生徒を対象とした広報活動を行った。また、令和7年8月のオープンキャンパスにおいても、理系学部の女性教員による模擬授業を実施し、理系女子のロールモデル提示を含めた取組を行った。これにより、フェーズ1に位置付ける理工系人材育成に向けた裾野拡大の取組が進展している。留学生受入れに向けた取組としては、英語圏大学との連携強化を図るため、サンフランシスコ州立大学及びディーキン大学と覚書を締結し、今後の学生交流に向けた基盤整備を進めた。社会人受入れ及びリカレント教育に関する取組については、「うえだ人材共創スクエア」参画企業を中心とした地域企業に対し、学内で開催した交流フォーラムを通じてリスキリングの機会を提供し、企業との協力関係の構築を進めた。これにより、令和8年9月から予定しているDX及びGXを主としたオンデマンド授業の提供に向けた基盤整備が進展している。また、企業との協力関係を基礎とした学生受入れ体制の構築に向けた環境整備を進めるとともに、長野県工科短期大学校の学生及び卒業生の受入れを見据えた連携の在り方についても検討を進めている。	

大学名	長野大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	共創情報科学部共創情報科学科（工学関係）

大区分	小区分	年度 / 改組状況 / 項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度 届出	R8年度 開設	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	-	90															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	90															
		入学者数	人	-	-	-	96															
		女子学生数	人	-	-	-	31															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	90															
		入学者数(B)	人	-	-	-	96															
		女子学生数	人	-	-	-	31															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	1.07															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	90															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	96															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	1.07															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	21															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	50															

大学名	長野大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	95	95	95	90															
		入学者数	人	104	104	108	96															
		女子学生数	人	42	56	51	31															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	95	95	95	90															
		入学者数(B)	人	104	104	108	96															
		女子学生数	人	42	56	51	31															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	0	0	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.09	1.09	1.14	1.07															
	収容定員等	収容定員(C)	人	390	390	390	385															
		編入学定員	人	5	5	5	-															
		在籍者数(D)	人	409	414	424	420															
		編入学者数	人	4	2	1	2															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.06	1.09	1.09															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	93	96	96	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	11	10	13	21															
		授業科目の単位数	単位	34	33	44	50															

大学名	長野大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	340	340	340	390															
		入学者数	人	361	356	373	440															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	340	340	340	390															
		入学者数(B)	人	361	356	373	440															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.06	1.05	1.10	1.13															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1410	1410	1410	1450															
		編入学定員	人	25	25	25	15															
		在籍者数(D)	人	1451	1453	1470	1561															
		編入学者数	人	15	9	14	9															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.03	1.03	1.04	1.08															

４.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況		申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定	選定	選定	開設・増員			完成年度							
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	42,912	26,985	17,863	35,162	32,721	87,123	127,593												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金	千円	31,129
本事業による助成金の額(F)	千円	1,081,058
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	58,155

特記事項